



進路新聞

北海道富良野緑峰高等学校
進路指導部

3学年向け令和3年7月号

文責:白鳥雅人

求人票公開スタート！！

本日（7月1日）より、求人票が公開されます。考査も終わり、学校祭ムードが漂う中、並行して就職活動をしていかなければなりません。富良野管内と指定校の求人については教室でいつでも見られるようにしておきます。

それ以外の求人を見たい人は、皆さんが使えるパソコンやタブレットが進路室にありますので、昼休みや放課後に来て利用してください。

8月上旬には校内選考を行います。民間就職を希望している生徒は、今日からその日までには人生の選択をしなければならないということです。しっかりと企業について調べ、求人票を見比べて、企業見学に行ってください。

基本的には、推薦願を出してもらう前に企業見学に行ってもらいます。入ってから雰囲気違ったとか、こんな仕事をするはずじゃなかったといったようなミスマッチを防ぐためです。

とにもかくにも、この1か月をどう行動するかが重要です。何か分からないことや困ったこと、学校推薦以外での就職を希望しているなど、なんでも相談に乗りますので、進路室に来てください。

目上の人に「了解です」はNG？

スマホやパソコンの普及で、メールやLINEでビジネスパートナーや上司などとやりとりをする機会が多くあります。そのようなとき「わかりました」の意を伝えるために「了解しました」という表現を使うケースがあると思います。しかしこの「了解しました」という言い回しは、上司など目上の人に対しては、あまり勧められる表現方法ではありません。

「する」の丁寧語が「します」です。そのため「了解しました」は丁寧語になります。これでは自分をへりくだる、謙譲の意味が入っていません。

つまり「了解しました」には、上司や先輩に対して敬意が込められていないのです。

「わかりました」という言い方もありますが、上司や目上の人に対しては「承知いたしました」「かしこまりました」「拝承しました」という言い方が適切です。LINEで「わかりました」という意味で「了解！」というスタンプがあふれています。友人同士のやりとりなら問題ありませんが、目上の人には「了解」という文言は好ましくない表現なのです。

このように、普段何気なく使っている言葉でも、相手にとって失礼になってしまうことがあります。これは、面接時も同じことが言えます。「面接の時だけ気を付ける」なんてことはできません。目上の人と話すときには、失礼なヤツと思われぬよう常に意識して言葉を選ぶようにしましょう。

就職の流れ

- ①企業を選択
- ↓
- ②企業見学
- ↓
- ③推薦願
誓約書を提出
- ↓
- ④校内選考（8月上旬）
- ↓
- ⑤履歴書作成
面接練習
- ↓
- ⑥面接試験（9/16～）
- ↓
- ⑦採用通知
試験から約1週間後

やってみよう

- 1 「言う」の謙譲語
()
- 2 「話す」の尊敬語
()
- 3 「来る」の尊敬語
()
()
()
- 4 「行く」の謙譲語
()
- 5 「見る」の尊敬語
()
- 6 「する」の謙譲語
()
- 7 「着る」の尊敬語
()